

意見広告

不平等な医療に
賛成できますか？

この国の医療は
あなたの手に
託されています。

いのちを守る医療政策に、間違いは許されません！

国民皆保険を死守しなければ
地域医療は崩壊します。


わが国には、いつでも、どこでも、だれでも、平等に医療が受けられる世界に誇る国民皆保険があります。しかし今、50年以上私たちのいのちと健康を守りつづけてきた国民皆保険の存続が危機に瀕しています。私たちは医療の専門家集団として、一人ひとりがその恩恵に授かれるよい医療のある国を守ります。

医療格差を生むTPP交渉参加には
より慎重な議論が必要です。

米国による医療の市場開放の要求は、実は27年も前から続けられてきています。TPPもその延長線上にあります。^{*}このまま交渉参加が進められれば、高所得者だけが優遇される保険外診療が解禁され、公的医療保険は崩壊し、ますます過疎地などの医療がおろそかにされることになるでしょう。いのちを守る医療に格差は許せません！



今必要なのは、あなたのチカラです。

 **日本医師会** 会長 横倉義武
www.med.or.jp 〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16 TEL: 03-3946-2121 (代表) E-mail: jmaiken@po.med.or.jp

※これまで米国から受けた医療の市場開放の要求は、1985年のMOSS協定(市場志向型分野別協定)から始まり、2001年米国「年次改革要望書」、2010年米国「外国貿易障壁報告書」、2011年「日米経済調和対話」、2011年米通商代表部「医薬品へのアクセス拡大のためのTPP貿易目標」とその後をたちません。